

産業建設委員会記録

開会年月日	令和2年10月13日
開会時刻	午前10時55分
閉会時刻	午前11時32分
出席委員名	◎辻 孝記 ○宮崎 誠 野口佳子 小山 敏
	浜口和久 山本正一 宿 典泰 世古口新吾
	世古 明 議長
欠席委員名	なし
署名者	野口佳子 小山 敏
担当書記	森田晃司
審査案件	議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）（産業建設委員会関係分）
	議案第97号 令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）
説明者	産業観光部長、産業観光部参事、商工労政課長、観光振興課長、
	観光誘客課長、都市整備部長、都市整備部次長、都市整備部参事、
	交通政策課長、交通政策課副参事、その他関係参与

審査経過

辻委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に野口委員、小山委員を指名した。

その後、直ちに議事に入り、本日の本会議において審査付託を受けた「議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）中、産業建設委員会関係分」外1件を審査し、いずれも全会一致で原案どおり可決すべしと決定し、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定し、閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前10時55分

◎辻孝記委員長

ただいまから、産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は、委員長において野口委員、小山委員の御兩名を指名いたします。

本日御審査いただきます案件は、「議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）中、産業建設委員会関係分」及び「議案第97号 令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）」であります。

お諮りいたします。

審査の方法につきましては委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいさせていただきます。

また、委員間の自由討議につきましては、申し出がありましたら随時行いたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

【議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）（産業建設委員会関係分）】

◎辻孝記委員長

それでは、「議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）中、産業建設委員会関係分」を御審査願います。

補正予算書の12ページをお開きください。

款2総務費、項1総務管理費、目22交通対策費を御審査願います。

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

おかげバスキャッシュレス決済導入事業ということで、これは協議会のほうでも御説明いただいて、また個別には内容のほうもお聞かせ願ったんですけれども、今回はICカー

ドリーダのライターということで、運賃箱ですよ、設置をするということで説明書には書いてございます。今回は、コロナ対策の関係の交付金を狙っての話で、事業としては来年の4月からの運営というのか、購入をしてシステムをやっていくという話だったんだと思います。

それが、今回補正で即前倒しをしていくっていうのは、これはもう私もありがたい話なんだろうかと、こんなことを思いますし、市民の方もこういう時代になってきたんだということで認識はするわけなんですけど、お聞きしたいのは、結局ハードの関係が今回設置をする、またシステム構築は別途ということで次回になるわけでありましてけれども、ICカードの利用が、時間がありますから、市民、全市民ですよ、特に高齢者の方にどれだけ便利になるものであるのかとか、どういうカードを使うとこういったことが市内の三重交通バスも含めて非常に便利になるんであろうかというようなことであるとか、あとは、観光客という言い方はいけませんけれども、市内・市外の方が、それは説明の中で大変便利だなというのを感じるというようなシステム構築っていうのが、次のことが非常に重要になってこようと思うんですよ。その辺りのことを想像しながら今回の導入に向けてもらいたいという思いで御質問申し上げておるんですけども、その辺りの点だけお聞かせをください。

◎辻孝記委員長

交通政策課参事。

●平見交通政策課副参事

委員の御質問につきましては、住民の方であったりとか観光客へのICカード普及の広報周知という御質問だと思うんですけども、まず、市民の皆様への普及につきましては、今後も定期的に住民説明会のほうを重ねていきたいと思っておりますので、そちらのほうで広報活動または広報いせのほうで行っていききたいと思うんですけども、もう一つは、あと今後、来年度以降システム構築をしていく中で、カード普及のための何かインセンティブ的な機能を何か乗せることができないかということで現在検討のほうをしておりますので、その辺りにつきましては、また3月議会前の産業建設委員会でこういう形でやっていきたいということでお示しをさせていただきたいと考えております。

観光客につきましては、また観光部局とも連携を取りながら、何か周知する機会があれば合わせてするような形で広報活動をしていきたいと考えております。以上でございます。

◎辻孝記委員長

宿委員。

○宿典泰委員

質問に対するお答えいただきました。もうそれで結構かと思うんですけども、今回はハード的な整備、来年以降がソフト的な整備ということになって、これは使えないこれは使えるというようなことでカードも何種類かあって、全国的な流れも非常にあると思うんですけど、その辺りの広報、また使い方について十分普及ができるようお願いをした

いということで、質問を終わっておきます。

◎辻孝記委員長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

他に御発言もないようでありますので、款2総務費の当委員会関係分の審査を終わります。

次に、18ページをお開きください。

款7商工費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

小山委員。

○小山敏委員

この中事業1、小規模店応援商品券発行事業で若干お聞かせ願いたいと思います。今現在流通しているプレミアム率25%の地域応援商品券なんですが、20万冊発行して半分以上売れ残ったということだったんですが、プレミアム率が25%というのがちょっと他市と比べてあまり魅力がなかったのかなという点もあろうかと思うんですが、販売方法にも問題があったかなと思ってるんですけど、その辺はどのように、今回のことも含めて、ちょっとその反省点を踏まえて、どのようにされるかちょっと聞かせください。

◎辻孝記委員長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

今現在行っている商品券につきましては、県下で割と先駆けて出させていただいたというふうに思っておりますけれども、その中でプレミアム率が25%ということで、今の御意見いただきましたとおり半分弱がまずは往復はがきの中で応募をいただきました。

10月1日からいわゆる一般販売という形で郵便局のほうで引き続き窓口で販売をさせていただきまして、現実には10月7日水曜日の午前中の時点で残りの分も要は全て売れまして、20万冊全て売れたというところでございます。

あとはこれを引き続き使っていただく、消費のほうにまわしていただきたいということと、今回はプレミアム率を上げさせていただきまして、特に年末年始を越えて、2月がやはり例年であっても消費がやはり一旦は冷え込む時期でございますので、その時期に中小規模店、こちらを応援するという趣旨で今回の事業のほう考えさせていただきました。以上でございます。

◎辻孝記委員長

小山委員。

○小山敏委員

全協でも説明があったんですが、もう一度この5万6,000冊の販売方法につきまして、ちょっと詳しく教えてください。

◎辻孝記委員長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

今度の商品券につきましては、いわゆる購入引換券、こちらのほうを住民基本台帳に登録されました市内全世帯の世帯主様、こちらのほうに郵送にて、記録の残る郵送にて送付のほうをさせていただきまして、購入引換券を今想定では郵便局さんのほうへお持ちいただきまして購入いただくということを想定しております。以上です。

○◎辻孝記委員長

小山委員。

○小山敏委員

要らない人は届いても使わなくていいと、そういうことでよろしいですね。1世帯1冊限りですよ。

◎辻孝記委員長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

現時点では1世帯当たり1冊ということで購入引換券のほうを送付させていただきます。

◎辻孝記委員長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

他に御発言もないようでありますので、款7商工費の審査を終わります。

次に、20ページをお開きください。

観光費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

浜口委員。

○浜口和久委員

すみません。私も、先ほどの本会議場でもちょっと議案質疑が他の議員からあったんですが、宇治の駐車場なんです、これの無料化というふうなことでちょっと聞かしていただきたい部分がありますので、まず、市営宇治駐車場の有料化になった成り立ち、これは

宇治浦田交通広場におきまして無料の駐車場がありましたということで、そこに長時間駐車されとるといような車もあって、観光客の駐車場の容量不足、そして、それと長時間駐車されとる無秩序な駐車場の状況やったんです。それが平成15、16年ぐらいやったと思いますが、お正月におきまして、伊勢自動車道における渋滞が伊勢西インターチェンジから玉城インターチェンジまで超えるところまで、14キロという渋滞がありました。それからお木曳が始まって、そんなことで遷宮に近づいてくるにつれていろいろな渋滞が発生してるわけですが、これらを解消するために、平成24年の3月に市営宇治駐車場として、再整備をされ、また機械式ゲートによります時間加算制の有料駐車場を整備されたという経過があります。その後、7月には内宮前の神宮司庁さんが管理しておりました駐車場についても市営内宮前駐車場として有料駐車場とされました。その結果ですね、長時間駐車抑制、それからこの抑制によります観光客の皆さんのための駐車容量の確保ができ、また無秩序駐車解消を図ることができました。

それと、正月期やゴールデンウィークに実施するパークアンドバスライドや混雑期の交通政策の財源、これの確保などができまして、それから交通渋滞対策に使っておるといふような成り立ちがございます。それが今までのざっとした経過やと思います。

この経過を受けてこの政策は、正月の混雑緩和を目的として休日と平日、料金の差をつけて来訪者の平準化を図りたいということでございました。そこで、先ほど議場でも言われておった逆に休日の値上げしたらいいんと違うのかっていうふうな意見もありましたが、例えば休日を少し値上げして、平日は何割か減免する、何かゼロにするっていうのが、無料にする時間を長くするというようにちょっと疑問を持つところなんですけど、お考えをお聞かせください。

◎辻孝記委員長

観光振興課長。

●小林観光振興課長

今回につきましては、まず観光側面から混雑緩和をする方策をいろいろ考えていく中で交通政策課のほうにも相談をさせていただいて、今おっしゃっていただいたような駐車場の経過ございますけども、駐車場の料金のことでできないかっていう相談から始まっております。

その中で、今回については条例の第7条に基づいて減免ということで進めることにいたしました。増額については本来特別会計とかで言いますと、そもそもの財源が不足してきとるとか、そういったときに条例を改正して料金を上げるということが本来なんかなという認識も持っておりましたので、今回は7条のほうで減免ということで対応させていただくことで進めさせていただきました。

◎辻孝記委員長

浜口委員。

○浜口和久委員

分かりました。今回のコロナ禍の状況の中での分散化を図るために値上げ、これはちょっと適正ではないのかなっていうふうな形やったと思います。

これで平日に分散するのかっていうのを議場のほうで議員が質問されて、初めてのことももんで実施をしてみて期待をしたいなというふうな感覚なんやと思いますが、この来訪者の平準化に向けての思いついていうのは分かるんですけど、今後、コロナウイルス感染症のこの状態、これが続けばこの無償化措置が継続や常態化するのではないか、そういうふうなことを危惧するところであります。

私、先ほど成り立ちのことをちょっと皆さんに御披露させていただきました。御説明させていただきました。そういったところで、この市営宇治駐車場の成り立ちっていうことを今一度考えて、この無料化というのはどうなのかっていうことをもう一度御答弁いただきたいと思います。

◎辻孝記委員長

観光振興課長。

●小林観光振興課長

今回は先ほど来出ましたように、あくまでコロナ禍での緊急的な対策ということで御理解いただきたいと存じます。来年の正月、年明けて正月の三が日は、大みそかからなりますけども、少しでも分散化していただきたい、そのような思いからやっているものでございまして、この後もずっと続けて常態化していく、そういったことは毛頭考えておりませんので、今回の補正につきましては、緊急的なものの駐車場のこと、それからその他に、この情報発信ウェブとかを使って分散化を呼びかける情報発信、それからノベルティの配布、また分散化して市内周遊していただけるような旅行商品の造成等も合わせて計上しておりますので、あくまで常態化するものを前提とはしておりませんので御理解いただきますようお願いいたします。

◎辻孝記委員長

浜口委員。

○浜口和久委員

分かりました。来年の1月の一定期間ということで理解をさせていただきます。ありがとうございます。

◎辻孝記委員長

他に御発言はありませんか。

小山委員。

○小山敏委員

クリエイターズワーケーション促進事業のことで一点だけ確認させてください。

最初、50人募集かけたところ想定外にたくさん集まってきたということで、それを100

人に増やしたいということなのですが、人数ばかり多くてもね、応募された方の能力と
いいですか、ちょっと失礼な言い方ですけど、大したことなかったら意味がないんですけ
ど、たくさん来ていただいて断るには忍びないような有能なインフルエンサーとして非常
に能力のある方ばかりだったのでしょうか。ちょっとその辺だけ確認させてください。

◎辻孝記委員長

観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

この前締め切りまして、すみません、先週は600名と御報告させていただいたところな
のですが、10月9日に締め切ったところ1,271名の応募がございました。ただいま審査の
途中なのですが、やはり有名な方もたくさんいらっしゃいましたし、今回応募の際に経歴
とともに伊勢の取組などを記載していただいているんですが、たくさん伊勢に熱い思いを持
っていらっしゃる方がいらっしゃいます。

これを50名に絞るといって大変難しい状況でございまして、これを絞っていくと約100
名ぐらいになるのかなと思っております。今後まだ審査をしていくところではございますが、
100名ぐらいの方で最終着地したいと思っております。以上でございます。

◎辻孝記委員長

他に御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

すみません、私も年末年始の混雑緩和事業ということで、分散化を図りたいというこ
とで書かれておるんですけども、まず先ほどの御答弁の中で、料金を上げる点の話を何か
財源の確保というようなことを言われておったんですけども、財源を確保するために、
そのときだけ料金の値上げというのはあるんですかね、ちょっと確認をしたいんですけど。

◎辻孝記委員長

観光振興課長。

●小林観光振興課長

財源を確保する一時的なことでの料金の値上げっていうのは会計上本来ないのかなと思
います。というのも、本来は使用することに対しての対価をいただくもので運営していく、
その運営が使用料が経費がもっとかかるようになってきたとかそういったことで増額せざ
るを得なくなったときに本来増額するべきものというふうに認識しております。

◎辻孝記委員長

宿委員。

○宿典泰委員

私が言いたいのは、答弁の中でそういうことを言われたので、財源確保のために料金の話というのが、これはですね、先ほど浜口委員から平成24年の話がありましたけれども、あの頃からずっと幾らに料金を構えるか、土日をどうするか、土日祝祭日をね、どうするかの話も含めて大変議論しとったわけですよ。今日御質問をされた方も現職でおるときからがたがたとったと思うんです。今の状況で落ちついたというのか、そういうことで無料の話もありました。2時間じゃなくて、2時間やると市内の人が行けへんやないかという話もあったり、その辺りは今回、安易にこういうやり方ではなくて、もう少し料金を無料にするということは、だから、そういうことをもう少し考える余地があったんかなと思うわけですよ。

それで、それまでの経過の中で料金をどうしていくかっていうようなことは確認されますか。今、こういうことになっておるといような、今の現状の料金体系になったというのは確認をされてますか。

◎辻孝記委員長

交通政策課長。

●小林交通政策課長

この現在の料金体系でございますが、これまでもですね、いろんな方から御意見いただきまして今現在に至っておりますのは、平成28年に産業建設委員会で御説明させていただきまして、このままいきたいということで説明させていただいております、現在の体系ということになっております。以上でございます。

◎辻孝記委員長

宿委員。

○宿典泰委員

私も2時間の無料化から4時間になることがそんなに緩和になるんかどうかということとは…。

◎辻孝記委員長

宿委員、1時間、1時間無料。

○宿典泰委員

1時間無料が4時間になるっていうことが非常にそんなに緩和できるかどうかは疑問、それをデータも予測もしてないから一遍やらせていただきたいという話やったと思うんです、本会議場ではね。だからそれ自体は挑戦してもらうには結構だと思っておりますけれども、実際にはここに書かれておるのは観光客というような言い方で書かれておりますけれども、実際その当時の料金の問題にしても、市民の方はどうなるんやという話もあったわけですよ。

市民の方が内宮参拝するのにそんな1時間ぐらいでは参拝できんやないかというような話もありながらの料金体系やったわけですよ。ここには市民の区別も観光客としか書いてないから、市民の方はどうしてくんやというような話も含めてもう少し御説明をいただきたいと思うんです。

◎辻孝記委員長
観光振興課長。

●小林観光振興課長

はい、おっしゃられるとおり市民も駐車場を利用して神宮のほうへ行かれるということは当然想定しております。今回の駐車場の件につきましては、できるだけ分散化していただきたいということ、これは観光客に限らず駐車場利用者、神宮訪れる方全てに対して話題性、インパクト、この今後行っていく啓発についてそういった部分もインパクト等も含めて実施できないかということで交通政策課とちょっと調整したところでございます。

◎辻孝記委員長
宿委員。

○宿典泰委員

先ほど言いましたけれども、一度挑戦してみるということも大事なことで、きちっと予測できることなら誰でもやるわけだし、何で今までやってなかったということを批判を受けるわけやから、それ自体は僕は大きな話やないけども、やっぱり観光客だけじゃなくて市民が対象ということもきちっと考えてほしいと思います。

それと、内宮周辺の人たちが4時間もあると止めるんじゃないかというような話もあって、これ自体はやっぱりきちっと整理をしてほしいと思います。というのは、その中にやはり事業者が勝手に止めるということのないような状況のことをどのようにしてやっていくかと。やっぱりその辺りは、伊勢市としてこれは公金を使うわけだから、事業者が分らんように勝手に止めてやるとというような話にならんようなことだけはきちっとやってかないかので、その辺りは事業者向けにやっぱり対応というか対策というのか、罰金を取れとはまでは言わんけども、そのようなことだけはきちっと通知をして、コロナの関係でこういうというようなことも含めて、観光客も市民も呼び込みたいんやっていうようなことをどのように理解をしてもらうかということがあるんですけども、その辺りはいかがでしょうか。

◎辻孝記委員長
観光振興課長。

●小林観光振興課長

これもおっしゃられるとおりで、事業者さん、周辺の方を含めて利用に際しては今回の目的をしっかりと伝えて御協力いただくというお願いには伺いたいと思っております。

◎辻孝記委員長
宿委員。

○宿典泰委員

これは本会議で中村議員から平日に使ったときのインセンティブっていうことがありました。僕はそれは、そういう考え方もあるなということで承ったんですけど、平日に止めるからインセンティブあって、それをまた使うことによって内宮周辺の観光事業が伸びるということであれば一つの考え方なんやなど、それは思いました。

だから、何か一つのやり方だけじゃなくて、違うやり方も含めてやっていかないと、何かこの中の事業というのがどういう考え方して本当にこれが、題名が悪いかわからんやけど、混雑緩和になつとるかどうかっていうことで、その辺りのことを思うので、ある程度議員から出したことが政策にも結びつくかどうかは別としても、いろんなやり方があると思うので、それはもう挑戦をしてもらってやってもらいたいなと思いますけれど、その辺りどうでしょうか。

◎辻孝記委員長
産業観光部長。

●須崎産業観光部長

いろいろな御意見ありがとうございます。おっしゃられるようにこの事業、駐車場無料にしたからといって本当に分散化するのかわかっていうのは私どもも正直自信を持って上げたものではございません。

それと先ほど中村議員おっしゃられたインセンティブを与えるというふうなことも検討はさせていただきました。GoToキャンペーン、GoToトラベル、GoToイート、いろんなクーポンが乱立しておりまして、その辺りも非常に複雑化するのではないかとということもあり、いろんなことを考えた上、このようなことはさせていただいたんですけども、今後実施するに当たりそういったことも含めていろいろ再度検討した上で、この無料化については一度、1月いっぱいやらせていただきたいと思いますので、御理解いただきますようによろしくお願いいたします。

◎辻孝記委員長
宿委員。

○宿典泰委員

次に、クリエイターズワーケーションのことでお聞きをしたいんです。これで一点、新聞情報によると、この中に貸しスタジオやらコワーキングスペースというのがあるというようなこともあって、これが事務費等に当たるのかわかっても含めてちょっとそういう状況のことがあるのかお聞かせを願いたいと思います。

◎辻孝記委員長
観光事業課長。

●富岡観光誘客課長

概要書のほうに大まかな数字でしか書いてございませんで申し訳ございません。

クリエイターを募集する段階でアートの方や音楽の演奏家の方など、たくさんの応募がございまして、となると別にスタジオであったり創作場所が必要であるのかなと思ひまして、会場使用料等を見込んでおります。創作場所の使用料としては約150万円程度を見込んでおります。以上でございます。

◎辻孝記委員長
宿委員。

○宿典泰委員

その辺りは我々が新聞でネタをいただくみたいな話じゃなくて、やっぱり概要書のほうにそういう理由の中でやってもらいたいなというのがあります。先ほど御答弁があった1,270名の応募があったということで、それも非常に驚いたわけなんですけど、その中で音楽家であったりとか太鼓演奏のこともあるんでしょう。そうなったときに、伊勢市内にそういう部屋やら場所があるんかなっていうふうなことも想像しながらちょっと御質問申し上げたんですけど、その辺りはどのような対応を考えておるのか最後にお聞かせをください。

◎辻孝記委員長
観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

まだの審査の段階でございますので、今後、参加者のジャンルを見て会場等の調整を取っていきたくて思っております。以上でございます。

◎辻孝記委員長
他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

他に御発言もないようでありますので、款8観光費の審査を終わります。

以上で議案第96号中、産業建設委員会関係分の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前11時25分

再開 午前11時25分

◎辻孝記委員長

休憩を解き再開いたします。

お諮りいたします。

「議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）中、産業建設委員会関係分」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

御異議なしと認めます。

そのように決定いたしました。

【議案第97号 令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）】

◎辻孝記委員長

次に、「議案第97号 令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）」を御審査願います。

27ページをお開きください。27ページから37ページです。

本件につきましては一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

私は1点だけ聞かしてもらおうと思ったら、先ほど数字的なことが出たのであれですけども、今回、観光交通対策特別会計としては2,400万円の事業収入が減るだろうと、それだけ先ほどの補正金額との2,400万円を一般会計から繰り入れるということなんですが、観光交通対策特別会計として独立してやはり事業は進めていかなければならないと僕は思うんです。その中で、やはり積立金があるにもかかわらず一般会計からの繰り入れをやっていくという手法について、考え方も含めてちょっとお聞かせください。

◎辻孝記委員長

交通政策課長。

●小林交通政策課長

現在ある基金といたしまして4億7,700万円ほどございますが、今回の2,400万円の減額ということにつきましては、コロナ対策ということで一旦一般会計からちょうだいいたしまして、対応していきたいということでございます。

◎辻孝記委員長

財政課長。

もうちょっと説明したってください。

●太田財政課長

先ほど交通政策課長からも説明申し上げましたとおり一般会計からの繰り入れ対応したいと、これに関しましては、国の臨時交付金のほうの対象になるということもございまして、一般会計のほうから繰り入れというそういう対応をさせていただいております。以上です。

◎辻孝記委員長

宿委員。

○宿典泰委員

今回は国の交付金があるということで、それに甘えてやる話なんですけれど、先ほどの財源の話からすると、観光交通対策はいつの時点でどうしてくってというのは余り見えてこない話の中で、今回も事業収入としては赤字になるから、それで一般会計から繰り入れをする。当然これは国の交付金がなければ基金というか積立金を取り崩すということになると思うんですよね。その辺りの一般会計からの繰入金をどのような上限で決めておるのかということを実はこの特別会計で聞こうと思ったんです。ところが先ほどの話の中で、別の補正でね、2,400万円がそういう状況やということもお聞きしたので、関連はしておるので、やはりこの特別会計としてきちっと管理というのか、運営管理をきちっとやってほしいと思うんです。その中に、やはり先ほどから議論しとる料金のあり方っていうのをやらないと、急に上がってきて何やっていうたら財源厳しくてっていう、それはいかんと思うんですよね。今の状況の中から、やはり今観光客をお迎えする、市民の方が利用していただく、その中で料金のあり方というのを決めとるわけですから、そうでしょう。決めておるわけやから、単にその中だけの特別会計で問題が出てきたときにはちょっと困る話なので、それで財政の人まで出てきてもらって、お答えをいただいたんですけど、ちょっとあと1点財政の人に聞きたいんですけど、この特別会計の安定運営をしていくためには、基本的にどのような考え方を持っておるんですか。

◎辻孝記委員長

財政課長。

●太田財政課長

委員おっしゃられるように基本的には特別会計ということですので独立採算、みずからの料金をいただいてそれで運営をしていくというところが筋だろうかと思います。それに伴って今後の更新費用、当然そういったものもある。その中で基金を貯めておるという状

況になっておりますので、原則的に運営していくために今後何か維持管理費が急上昇したと、そういったことがあればやはり料金改定、そういったことも考慮する必要があると、その中で安定をしていくというふうに考えております。以上でございます。

◎辻孝記委員長
宿委員。

○宿典泰委員

更新時期の問題もあると思うんですけれども、実際にやはり収支がきちっと収益として出ておるとい状況のときに毎度申し上げておりますけれども、今の状況についての行革というのか、まだまだ経費を無駄なものがないかという見直しをきちっとやってね、今のうちにきちっと積立金をつくっていかないと、やはり安易に料金を上げるというようなことにならないような状況だけはきちっと運営管理をしてほしいと思います。ありがとうございました。

◎辻孝記委員長
他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長
他に発言もないようでありますので、以上で議案第97号の審査を終わります。
続いて討論を行います。
討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長
ないようですので、以上で討論を終わります。
お諮りいたします。

「議案第97号 令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長
御異議なしと認めます。
そのように決定いたしました。
以上で付託案件の審査は全て終了いたしました。
お諮りいたします。

委員長報告文の作成につきましては正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長
御異議なしと認めます。
そのように決定いたしました。

以上で御審査願います案件は全て終わりましたので、これをもちまして産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午前11時32分

上記署名する。

令和2年10月13日

委員 長

委員

委員